



ごあいさつ

誠実に・着実に・皆様とともに

西山かづみ

市議会活動報告

会報：第22号

教育福祉常任委員会 委員

議会運営委員会 委員

議会改革推進検討委員会 委員長

災害等対策推進特別委員会 委員

例年になく、早く始まった暑い日々も終わり、肌寒い日そして日の短さをひしひしと感じる今日この頃、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

自宅周辺を歩き、稻刈り時期の田んぼを見渡しますと、「実るほど、こうべを垂れる稲穂かな」を思い出します。一般的に稲穂は秋口、穂先に栄養が行きわたり重みでしなりますが、垂れ下がらない穂は、見た目はスッとしていても実入りは悪かつたりします。このことわざは、稻刈りの時に父から言われた言葉で、どんな立場の方に対しても常に頭を垂れ、やさしく接すること。「尊大、高慢な態度をとらず謙虚に生きろ」という意味だと教えられました。あらためて父の言葉を思いかえし、心がギュッとなります。

今回の登壇で通算20回目、市議となり10年目の節目を迎えました。また、任期半分の2年が過ぎ、議会も改編期を迎えるました。自分本位ではなく大きな視点で議会に対しどのように貢献できるか謙虚に考えているところです。今回9月定例会が閉会いたしましたので説明責任の一環として市政報告をさせていただきます。

令和4年9月定例会

「市道の維持管理にかかる諸問題への対応について」

近年の大型台風や集中豪雨は、災害を引き起こす大きな要因で、特に市街地においては、冠水被害による通行規制が頻発化しており、避難時の妨げにもなっています。また、道路施設の状況に目を向けてみると経年劣化が進んでいるものの、道路のり面などの崩落事故は、事前に適切な点検や対策を施していれば、未然に防止できるケースも少なくないと思われます。そこで、市民の皆さん的生活に密接な関わりのある道路管理に関する諸問題について質問をいたしました。

1点目は、「安心みちまち冠水対策事業について」です。



この事業は、豪雨時において、冠水した市内の約100箇所の排水不良箇所の改修を行うもので、令和3年度から事業を実施しているものと認識しております。現在まで、約1年半の事業実施期間が経過しましたが、現在の事業の進捗状況について伺います。



本事業につきましては、大雨時、市道において慢性的に冠水する99箇所を対象に、令和3年度から冠水対策に着手し、令和7年度まで集中的に取り組んでいく考えです。

本年8月末現在の進捗状況は、令和3年度から今年度末までに完了を予定している28箇所の対策工事のうち、市道内郷・平線など13箇所の工事が完了し、6箇所が施工中となっています。残る9箇所につきましては、現在、発注に向けた準備を進めているところです。



豪雨時には、短時間に様々な箇所で道路冠水などの被害が出ると思われますが、特に地形上危険な箇所となるのが、鉄道などの下を横断するアンダーパス部分です。

本年7月19日に、滋賀県近江八幡市において、大雨により冠水していた地下歩道に女性が誤って進入し、亡くなるという事故が発生しました。また、過去にもアンダーパスが冠水していることに気づかず、車両が進入して水没する事故も発生しています。

市内には14箇所のアンダーパスの冠水対策を行うとのことですが、アンダーパス部分は、鉄道や道路が立体交差部で掘り下げとなっている特殊な構造で、通常の排水施設とは異なる対策が必要と考えますが、今回、該当するアンダーパスについて具体的にどのような対策を実施するのか伺います。



アンダーパス部分につきましては、設置している排水ポンプの老朽化や吸い込み口のゴミ・落ち葉などの詰まりが課題となっています。

このため本事業において、雨水の排水が滞ることがないよう、ポンプを更新するとともに、詰まりにくい排水施設への改修を行います。また、ポンプの排水能力を超える大雨により、冠水が発生した場合においても、歩行者や車両の進入を防ぎ、すみやかな通行規制を講じ、バリケードなどの封鎖施設を設置します。さらに、歩行者や車両が誤ってアンダーパス内に侵入してしまった際にも、冠水状況を直ちに視認し、危険を回避できるよう、水位表示板を設置するなど、通行者の安全を確保します。

このように多重の対策に加え、現場での迅速な対応ができるよう、大雨時の初動体制の強化も図ります。

引き続き、事業を拡大して暮らしを守る安全・安心の充実強化につなげていくようお願いしたいと思います。

2点目は、「明るいみちまちリニューアル事業について」です。



道路を通行する場合、夜間の通行は昼間と比べ、歩行者や車両を確認する力いわゆる視認性が悪く、発見が遅れるなど重大な事故につながる恐れがあります。交通事故を防止する上で、重要な道路施設が「道路照明」です。

しかしながら、現在の道路照明はほとんどが古いタイプのもので、LED形式と比較すると明るさの差もありますが、経済的に大きく劣るものとなっています。

そこで、本年度より実施されている既設の道路照明をLED化する「明るいみちまちリニューアル事業」についてですが、本事業の概要はどのようなものか伺います。



本事業につきましては、市道の交差点や橋梁などに設置している1,091基の道路照明のうち、LED形式となっていない1,063基を対象にLED化を図るもので

事業実施にあたっては、国の「緊急自然災害防止対策事業債」を活用し、今年度から着手しているところであり、令和7年度まで集中的に取り組んでいく考えです。



次に、現在の進捗の状況はどうなっているのか伺います。



事業開始となる今年度につきましては、市道十五町目・若葉台線などの22路線268基の道路照明について地区ごとに工事を行います。

本年8月末現在での進捗状況は、16路線251基について、受注者と請負契約を締結済みです。今後は、使用材料が納入され次第、順次、LED形式への更新作業を進めていきます。残る6路線17基につきましては、現在、発注に向けた準備を進めているところです。



LED形式への道路照明の更新により、電気料金や電灯交換費用など維持管理費の削減が図られると考えますが、具体的にどの程度の削減が図られるのか、LED化による維持管理費の削減効果について伺います。



本事業で道路照明1,063基をLED形式に更新した際の維持管理費の削減効果につきましては、省電力化により電気料金で年間1,100万円程度、約65%の経費削減が図れる見込みです。

また、LED形式に更新する初期費用は既存の高圧ナトリウム形式と比較して高価ではありますが、その耐用年数は15年と長く、既存形式の2.5倍です。このことから、電球の長寿命化により、交換費用が抑えられ、長期的には維持管理費の削減が図られる見込みです。

さらに、二酸化炭素排出量につきましても、年間290トン程度、約55%の削減が見込まれ、本事業における道路照明のLED形式への更新は、経済、環境の両面から大きな効果が期待できます。

既設道路照明のLED化を進める一方で、交通量の多い幹線道路で道路照明のない交差点や橋梁部などにおいても、夜間時の視認性を向上させるだけではなく、災害時の避難行動をサポートするため、引き続き、道路照明の新設にも力を注いでいただくよう要望いたします。



3点目は、「安全みちまちプロジェクト事業について」です。



令和元年度に鹿島町久保地区の通称「鹿島街道」で発生した大規模なり面崩落では、幸いにも事故に巻き込まれた市民の方はいなかったわけですが、長期間にわたる通行規制は、道路利用者に大きな影響を与えました。

そのようなことも踏まえ、本年度から道路のり面対策事業の「安全みちまちプロジェクト事業」に着手していると伺っております。初年度の取組みが今後の事業進捗にとって重要だと考えますが、現在の進捗状況はどのようにになっているのか伺います。



事業開始となる今年度につきましては、市道上荒川・台山線、および内郷・平線の2路線3箇所において、対策工事を予定しており、現在、発注に向けた準備を進めています。

また、来年度以降に工事予定の市道永崎・栄町線など7路線につきましては、現在、既設法面の調査と対策工法を検討するための調査設計委託の発注に向けて、準備を進めているところです。



のり面の構造や劣化の状況などにより、様々な対策工法があると思いますが、その工事の内容は、利用者の安全安心に直結する重要なものと考えます。今年度実施する主な工事内容はどのようなものか伺います。



今年度、対策工事を実施する2路線3箇所の法面につきましては、現状において、コンクリートによる法枠や草木類による植生となっています。しかし、経年による風化のため、特に植生部において、崩落の恐れのある箇所が確認されています。

この対策として実施する主な工事内容は、コンクリート法枠内の植生部や、植生法面を耐用年数が長く、かつ強度の高いモルタル吹付とする法面保護を行います。これにより、長期にわたる法面の風化抑制と安定化を図り、災害時の緊急輸送路や通学路としての道路機能を確保します。

この先、大規模なり面崩落が発生し、人的被害や全面通行止めなどの通行制限が起こることの無いように、対策が必要と判断された箇所については、引き続き、迅速そして積極的に対応していただきたいと思います。

本市における防災・減災そして国土強靭化を図り、市民の皆様の「命とくらしを守る事業」のひとつとして、これらの諸問題の解決に向け、確実な事業の推進を強く要望いたします。

地域の高齢者や子供達が安全・安心に生活がおくれるように活動しています。



※活動実績の一部を抜粋しております。

要望活動



西山かずみプロフィール 昭和34年9月13日（いわき市平生まれ）

- 公益財団法人ときわ会 評議員
- 学校法人志向学園 かなや幼稚園 理事
- いわきバレーボール協会 参与
- 中神谷スポーツ少年団 顧問

経歴

国立福島高専機械工学科卒
アルプス電気(株)東京本社入社
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社
ときわ会グループ(株)シグマ入社
総合広告代理店を起業



<https://www.facebook.com/kaz2419>



nishiyamakazumi.hatenablog.com/

